

県内で飼養される豚等への豚熱ワクチンの接種終了について

1 要旨・目的

県内養豚農場等で飼養される豚などに対する豚熱のワクチン接種を4月18日から開始し、7月22日に愛玩豚を含む全飼養豚等への接種が終了した。

2 現状・背景

県内において野生いのししでの豚熱感染が確認されたことから、令和4年3月23日、国の牛豚等疾病小委員会において、本県及び島根県・山口県が新たにワクチン接種推奨地域に設定された。これを受け、ワクチン接種プログラムを国に提出したところ、令和4年4月13日に承認され、4月18日から初回一斉接種を開始した。

3 概要

(1) 豚熱ワクチン接種の概要

	当初計画①	実績②	差(②-①)
養豚農場	28戸, 151,939頭	28戸, 95,193頭※	0戸, ▲56,746頭
愛玩豚等	21戸, 63頭	22戸, 70頭	1戸, 7頭
計	49戸, 152,002頭	50戸, 95,263頭	1戸, ▲56,739頭

(2) 当初計画と実績の乖離理由

初回一斉接種終了までの3か月の間に、豚が出荷されたことなどにより減少した。
また、計画作成時には、飼養頭数を基本に最大値で計画していたため。(飼養規模には変更なし。)

(3) 事業内容(実施内容)

家畜伝染病予防法第6条第1項の規定に基づき、家畜防疫員及び知事認定獣医師により、県内養豚農場等で飼養される全ての豚及びいのししに対し、豚熱ワクチン接種を行う。

(4) 今後のスケジュール(ア～ウはすでに開始済または対応中)

ア 補強接種及び追加接種

知事認定獣医師を中心に、初回一斉接種後、親豚及び出生した子豚等に対して定期的にワクチンを接種

イ 免疫付与状況調査

豚熱ワクチン接種による飼養豚等への免疫付与状況を確認するための抗体検査を実施

ウ 野生いのししの豚熱感染状況調査

引き続き県内で捕獲された野生いのししや死亡いのししの豚熱感染状況を確認

(5) 予算(国庫・単県)

令和4年度当初予算 140,222千円